

今度は1年生の手で

第1学年主任

2学期は、運動会や和鍾文化祭を通して、「自らの手でつくりあげる」先輩の姿から大いに刺激を受けました。1年生は、「今度は自分たちが」と意欲を高めています。

11月末には、富山県出身のパラスリートである河合紫乃さんを講師としてお招きし、「生き方講演会」を実施しました。各クラスから選出されたキャリアリーダーが中心となって、どんな人からどんな話を聞いてみたいかアンケートをとったり、各クラスでプレゼンテーション資料を使いながら講師の先生を紹介したりしました。当日の運営や講師の先生のおもてなしも、全て生徒の手で行いました。河合さんには、講演だけでなく、給食や部活動もご一緒いただき、生徒にとって、大いに学びを得る一日になりました。

生徒は現在、学年議会を中心に、学習の質を高めたり、3年生に感謝を伝えたりするための活動を次々と企画しています。生徒の意欲を大切に、主体性を育てていきたいと思えます。



目標をもつことの大切さを学びました

将来を見据えて「学習」に目を向ける2年生

第2学年主任

2年生は、将来を見据えて「学習」に目を向ける機会が多くありました。学年議会が主体となって自主学習ノートの提出率を向上させる活動や授業規律を改善する活動を定期的に行ったり、テストの前には廊下に「予想問題」を作成して掲示したりしました。休み時間には多くの生徒が予想問題に挑戦し、友達と教え合っている姿が印象的でした。

12月からは、中学校の学習を長期にわたって計画的に復習し、基礎的・基本的な内容の定着と、家庭での学習習慣の確立を図るため、補充学習を実施しています。日々の取組を見ていると、主体的に問題を解いている様子が伝わってきます。放課後に学習塾やクラブチームの活動等で忙しい時には、空いている時間を見つけて調整しながら真剣に取り組んでいます。時間の使い方も含めてよい例を学年に紹介していきたいです。そして、学年全体で成長し続けられるようにサポートしていきたいと思えます。



友達とテスト予想問題に挑戦しています

本気の行動が感動を生む

第3学年主任

10月25日（金）に行われた合唱コンクールでは、文化会館いっばいに各学級でつくり上げた歌声を響かせました。今回の合唱コンクールは各学級の合唱だけではなく、全校合唱も披露しました。曲は「栄光の架橋」。3年生がこれまでの節目で歌ってきた曲です。本番までに学年を超えて一緒に練習する時間を設け、歌い方だけではなく、この曲に込められている思いにも触れながら、本番で最高の歌声を届けようと練習に取り組んできました。本気で練習に取り組んできた様子を見てきたからか、全校生徒でこれからもよりよい学校をつくっていきましょうという強い思いが歌声や表情から伝わり、心から感動しました。本気の思いが行動に表れたときに感動が生まれることを再確認させられました。

今後は進路について考える時間が増えていきます。そんな中でも、これまで仲間と本気で挑戦してきた経験を大切に、自分自分と真剣に向き合っていってほしいと思えます。



本気で練習する3年生